

賀川豊彦記念 松沢資料館
 資料館ニュース
 Kagawa Archives & Resource Center Newsletter
 No. 69



経済危機における

協同組合の「役割」

日本生活協同組合連合会会長 山下俊史

各国の協同組合のゆるやかな連合組織である国際協同組合同盟（ICA）の総会が、「世界的危機——協同組合にとっての好機」をテーマに、十一月一七・一八日、スイスのジュネーブで開かれました。同時に行なわれました役員選挙では、初の女性会長（イギリスのポーリン・グリーン氏）が誕生しました。

ICAの歴史は古く、設立は114年前に遡ります。農業、信用、保健、消費生活、労働、住宅など各種協同組合の各国連合会が主な会員で、現在89カ国の231団体が加盟し、個人組合員総数は8億人を超える世界最大規模のNGO（非政府組織）です。

生協で言えば、発祥の地であるイギリスでのV字回復、スイスやイタリアでの国内食品

小売高のトップシェアなどが目立ちます。また、途上国においても協同組合は、農業、仕事起こし、

保健医療、マイクロファイナンス（社会的弱者への小口金融）、貧困からの脱却などにおいて重要な社会的役割を果たしています。ICAは協同組合の発展・相互

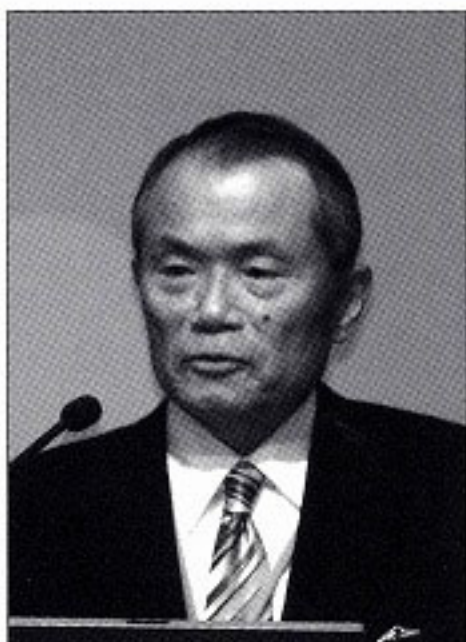
協力、世界平和への貢献などを目的に多様な活動を行っており、国連や国際労働機関（ILO）など国際機関とも密接な関係を持って重要な役割を果たしてきました。わが国からはJAグループ

や日本生協連など12団体が加盟しており、日本協同組合連絡協議会（JJJC）がICAの窓口を担っています。さて、今総会

のための事業を展開する協同組合が、昨年来の経済危機や環境・エネルギーなどの危機に直面し、その克服にあたりどういふ役割を果たすべきかという点を中心に報告や議論が行われました。

それらに関連して、総会では日本から出された2つの決議案（動議）が採択されました。一つは、JJJC提案による「協同組合と経済危機」です。これは、経済危機克服のために協同組合がリーダーシップを発揮すること、組合員参加を推進し協同組合の強化を呼びかけるもので、茂木守・JJJC会長（JA全中会長）が提案されました。

二つ目は、日本生協連による核非武装・平和決議の提案です。これは、来年2010年



やました としふみ
 CO-OP 山下 俊史

1944年 愛媛県生まれ、1967年 東京大学卒業、1967年 東京大学消費生活協同組合入協、1970年 東京大学消費生活協同組合常務理事、1974年 新潟大学生活協同組合常務理事、1975年 生活協同組合都民生協移籍（現生活協同組合コープとうきょう）、1987年 生活協同組合都民生協理事、1992年 生活協同組合コープとうきょう専務理事、1999年 生活協同組合連合会コープネット事業連合理事、2001年 生活協同組合コープとうきょう理事長（2007年退任）、2001年 生活協同組合連合会コープネット事業連合常任理事（2003年退任）、2001年 東京都生活協同組合連合会副会長理事（2003年退任）、2003年 日本生活協同組合連合会副会長、2007年 日本生活協同組合連合会会長。

の核不拡散条約（NPT）再検討会議に向け、国連ならびに各国政府、協同組合組織が核兵器廃絶のための強いイニシアティブを発揮することを要請するもので、私と広島県の生協代表（広島県生活協同組合連合会）から訴えさせていただきました。

本年2009年は、賀川豊彦（弊会初代会長）が、神戸で救貧活動を始めて百年にあたる「献身100年記念」の年ですが、その当時は大変貧しく貧富の格差も大きく、賀川豊彦は、この解決のため生協をはじめとする協同組合の重要性を国内外で訴え、また自ら実践しました。協同組合は、個人個人が学習・

出資・参加することによって、自らが必要とする事業を協同して行なうものであり、時代や地域を超える普遍的役割をもっています。世界は、昨年来の「100年に一度」とも言われる経済危機に懸命に対処しています。が、本格的脱出はこれからであり、その基本方向を模索しているところです。1980年代末からの計画経済（社会主義経済）の破綻に続き、行き過ぎた市場経済の不十分さが再び明らかになった今日、「第三の道」とも言うべき協同に基づく経済（そこでは協同組合や「社会的企業」などが重要な役割を果たす）が着目され、協同組合に携わる者にとって、そうした役割を自覚しなければなりません。

総会では、そうした認識が各国の代表者から実践事例とともに報告されました。とはいえ協同組合の事業自体も楽観できるものでなく、その強化・発展が求められますが、それは、平和・貧困・食料・環境など現代の諸問題の実践的解決に寄与することをつうじて、よりよく達成されるものと思われれます。

神戸賀川記念館

ご協力をお願いについて

神戸の賀川記念館は、賀川豊彦献身50年を記念して建てられた建物が老朽化したため、献身100年を期して、ミュージアムやアーカイブスなどを含む新記念館として完成しました。このため募金を呼びかけています。賀川豊彦の社会活動の出発拠点であった同館の完成のため皆様のご協力をお願いします。

神戸賀川記念館についてのお問い合わせ先

〒651-0096

神戸市中央区雲井通2-1-29

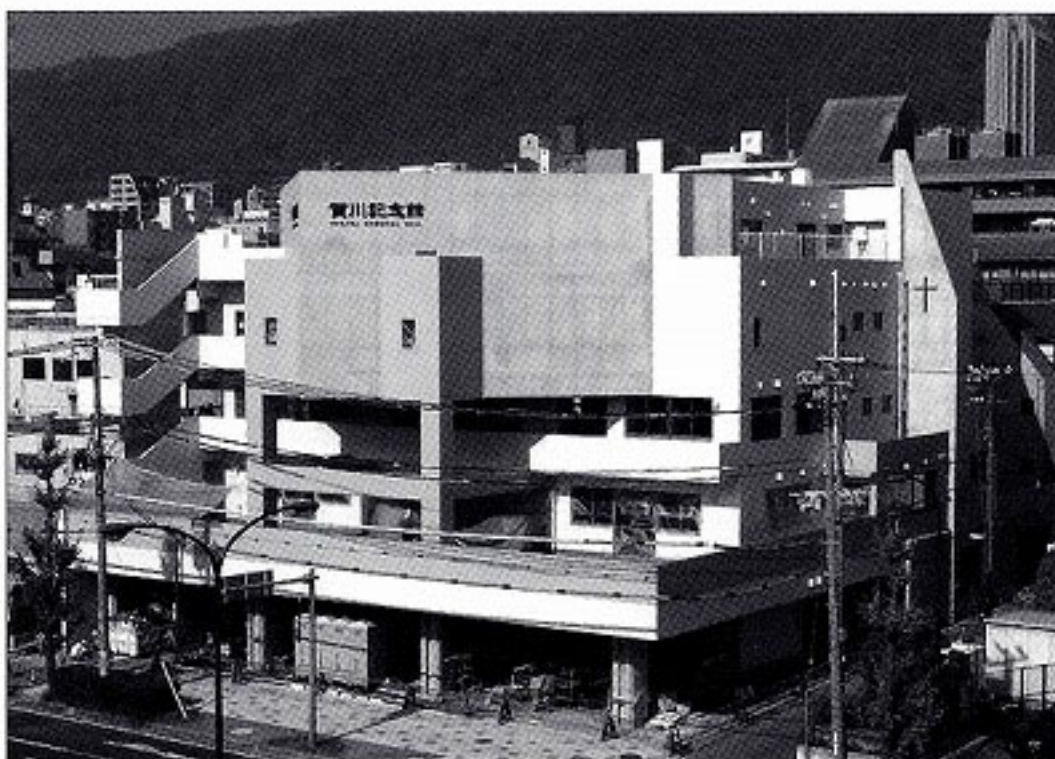
レーベン三宮202号

(二〇〇九年十二月まで)

社会福祉法人イエス団 法人本部事務局

TEL 078-221-9565

FAX 078-221-9566



↑ 老朽化により建て替えが進められてきた、イエス団（神戸）の新しい「賀川記念館」が12月1日に完成しました。建物には、イエス団本部や「友愛幼稚園」、「イエス団教会」、そして「賀川ミュージアム」（来年4月オープン）が入る複合施設となります。

財団法人雲柱社
新しい理事および評議員のご紹介

二〇〇九～二〇一〇年までの任期で左記のかたがたに理事、評議員を担って頂きます。

理事 齊藤宏、石川和夫、今井譲

富沢千代子、加山久夫、青竹豊

木村量好、仲摩信行、羽田秀司

山岸真純、本間照光

評議員 齊藤宏、石川和夫、今井譲

富沢千代子、鶴沢よね

小川涉三、賀川督明

加茂登千、萱沼武

服部榮、今関公雄

監事 小崎忠雄、岡本裕

Lacent News

書籍通販を教文館に委託

長らく書籍の通信販売をサービスして参りましたが、この秋より銀座教文館で受注することになりました。書籍およびDVDのご注文は以下までお願いします。

〒104-0061
東京都中央区銀座4-5-1
株式会社教文館キリスト教書部
TEL 03-3561-8448
FAX 03-3563-1288
電子メール xbooks@kyobunkwan.co.jp

新刊書籍の紹介

前号で書籍を紹介しましたが、その後に刊行されたものをお知らせします

- 『乳と蜜のながるゝ郷』家の光協会 1900円(税別)
- 『劇画 死線を越えて』家の光協会 1143円(税別)
- 『賀川豊彦を知っていますか』教文館 阿部志郎ほか 1000円(税別)
- 『賀川豊彦——その社会的・政治的活動』K.H.シエルジェン 教文館 2600円(税別)
- 『賀川豊彦研究序説』小南浩一 緑蔭書房 5000円(税別)



週間エコノミストに掲載

当財団理事、本間照光氏(青山学院大学教授)が書かれた賀川豊彦の記事が、週刊エコノミスト誌12/22号に掲載されました。四ページにわたり、賀川のこと紹介されています。

ローガン宣教師の孫、来日

11月の18-19日、賀川豊彦を育てた米国人宣教師チャールズ・ローガン師のお孫さんが来日されました。賀川豊彦献身100年記念事業鳴門プロジェクトの招きによって、来日が実現しました。成田空港まで、館長、学芸員が出迎えに行き、翌日は資料館スタッフが都内の賀川関係機関へ案内しました。その後関西へ向かい、鳴門で記念式典に出席後、帰国されました。



←御殿場高根学園での賀川とローガン師。
↓来日された、オラ・マーレーさんと賀川豊彦の長女の富沢千代子さんとでの記念写真。

オーディオブック版 『賀川豊彦を知っていますか』 刊行

FEBC放送でオンエアされた、シリーズ『賀川豊彦を知っていますか』の音声CDが刊行されました。視覚障碍の方にも、また一般の方にも担当者の音声で賀川豊彦を味わって頂けます。ご希望者は資料館へお申込みください。頒布価格一〇〇〇円。



(三枚組)

転居された方へ

賛助会員の方で転居された方は、大変お手数ですが、お電話、FAX、郵便、Eメールのいずれでも結構です。賀川資料館までご連絡ください。

年末年始休館のお知らせ

二〇〇九年一月二日から
二〇一〇年一月五日まで
休館いたします。



❖ 発行者情報 ❖

賀川豊彦記念 松沢資料館
資料館ニュース 第69号
発行年月日: 2009年12月10日
発行者: 賀川豊彦記念 松沢資料館
発行責任者: 加山久夫
住所: 〒156-0057
東京都世田谷区上北沢3-8-19
電話: 03-3302-2855
FAX: 03-3304-3599
メール: zaidan@unchusha.com
URL: http://zaidan.unchusha.com